

炊き出しボランティア通信 vol 51

2011,8月

炊き出し 8月13日(土)晴

9:00 ~ 北仙台教会(準備)

12:00 ~ 五橋公園(炊き出し)

公園に集まった方は54人(女性3人)でした。ボランティア参加の生徒は、本校から9人でした。その内5人の2年生はボランティア同好会ですが、4人の1年生は「夏休みボランティア体験」の生徒たちです。「夏ボラ」には他校生もおり、総勢16人の高校生ボランティアが参加しました。Wさん嬉しそうでしたが、ご指導くださった正平協スタッフの方たち大変だったと思います。それと今回も思ったのは、夏ボラの時だけでも、男子高校生がなぜ一人もいないのかなあということでした。本校が女子の学校なのでなおさらそう思われました。



○わたしは3回目の参加だったのでスムーズに仕事をする事ができましたと思います。暑かったけれど一生懸命調理の手伝いや、現地では靴の提供係をしました。ホームレスの方に靴の紙の書き方をうまく説明することができませんでした。炊き出しは大変だけど、いつも自分を成長させてくれるので、やっているととても楽しいです。次回に向けての自分の課題——「包丁を練習する」(2年)

○今回初めてボランティア同好会としてボランティアに参加しました。わたしは調理班で仕事をしていたのですが、思った以上に包丁と格闘してしまい、大変でした。おにぎりも今までにないくらいにぎりました。ホームレスの方たちに食べてもらいとても嬉しかったです。次回の参加の時はもっとテキパキとできるようにしたいです。(2年)



○今回のボランティアに参加して炊き出しや生活用品を出しながら思ったのは、ホームレスの人がおかわりを何回もしていたこと、そして、生活用品を選んでいてとても楽しそうだったことでした。初めてやってみて、こんなにも喜んでくれる人がいてよかったと思いました。(1年)

○いかにおにぎりをきれいにそして食べやすく速く作るかを優しく笑顔で教えていただいたことが嬉しかったです。反省点は野菜を速く丁寧に切ることができなかった点です。(2年)

○よかったのは、たくさんの人と協力しながらたがいに助け合っできたことです。ホームレスの方にもとても喜んでもらい、笑顔でありがとうと言われたり、色々な話をしてくれて、とてもよかったです。いい経験ができました。(2年)



(はい、楽しかった人は、へんな顔ポーズをどーぞ!)

夜回り 8月11日(水) 8:30~9:30PM 晴れ 暑し

Tnさんという大変熱心な信者さんと一緒。国際センターの裏手ベンチはいつものとおり。会話なし。表ベンチに近づき、こんばんは正平協です、味噌スープいかがですか？—えっ？いくらだ？ 無料です—それならもらう。どうもいつものおじさんではないな、と感じた。おじさんどちらからですか？—山形から。きょう自転車で来た。土曜日炊き出ししてますから来て下さい、と告げた。いつもの人不在。

大橋下のKuさんは、夜回り出発前のHさんからの伝達で、六魂祭の日に清掃が来てあそこは全部なくなった。—えっ、市の係が？ いや、あそこは国土交通省。—さっすがア、Kuさん。宝の山を国税で撤去されたんだア。で、今どこに？ 東北大北門前、プロテスタント教会隣のヤナギマチ公園に今いて、今度はそこに少しずつまたゴミを持ってきてためているって話よ。—追い出されてもめげずに健やかに暮らすKuさんがすぐに浮かんで来て、思わずニヤツとした。自分の夜回りコース外になったが今度顔出ししてみようと思った。

西公園の石ベンチStさんは起きていて、背中を木にもたせかけているのが遠くから灯りで見えた。きょうも暑いですねえ。ずっとここですか？—昼間はここにはいません。炊き出し来てませんよね。—会いたくない人がいるので。ホームレスのところへ来る人のことらしかったが、今回はそれ以上聞かなかった。

陸橋下のOさんがいない。何度も名前を呼びながら、シートの中を照らしてみる。中は荷物が散乱していて、人の住んでいる気配はなかった。せいぜい月に一度訪問するだけなのに、いるのが当然のように思いこんでいる方が、思い上がりというものかと思う。ショックだった。

念のため翌日の朝再訪してみたが、同じだった。Wさんに聞いてみたが、情報は得られなかった。

献品 小学校から衣類と食品の献品をたくさん預かりました。ありがとうございました。高校職員からの献金と献品も預かりました。ありがとうございました。

萌友の炊きだし 8月20日(土)晴 12:00 ~ 五橋公園

五橋公園に10時集合。本校からは同好会と夏ボラの1年生が8人参加しました。他にSb高・Sy学園・Sk学院等4人です。Hさんの指令でおいしいカレーライスとサラダができてゆきました。本校の参加生徒たちはサラダの野菜切りを手分けしてやっていましたが、それが、恐くて見てもらえない。つい口をだしてしまう。家の台所でいかにお母さんのお手伝いをしていないのかがよく露呈されていました。

ところでHさんに夜回りでのOさん不在の話を伝えると、びっくりして早速どこかへ電話してくれて、すぐさま状況が分かりました。最近ずっと腹が痛い痛いとくり返していたいたOさんは、医者通いを続けていて、ついに入院し、退院して後そのままSrホームに入所したとのことでした。いまはもう非常に元気であるとのこと。Srホームはオノさんがあれほどいやがっていた仙台市の路上生活者等支援施設で

す。なじみの場所にもう戻ってこないのは、寂しくなりましたが、Oさんにとってよい転機です。祝福しなければなりません。それを教えてくれたHさんにも感謝です。



○現地での準備と炊き出しに手伝いをさせていただきました。たくさんのホームレスの方がいてびっくりしましたが、喜んでくれたのでうれしかったです。(1年)

○いろんな方と関わったことはとてもよかったです。反省点は最初のほうで何をすればいいのかわからなくてうろろしていたのでまわりに迷惑をかけたと思います。しかし今回でいろいろ学べたのは本当によかったです。次回に活かして頑張りたいです。(1年)

○よかったことはカレーやサラダを作ったことでホームレスの人たちが喜んでくれたことです。反省点は食材がうまく切れなかったことです。(1年)

